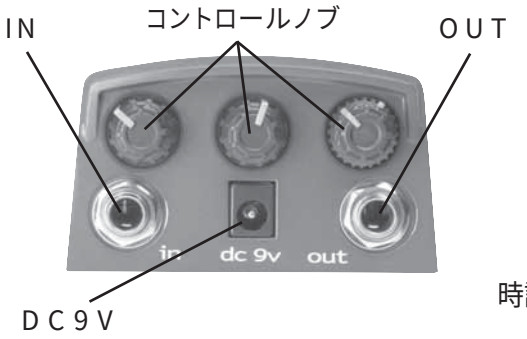
A QUICK LOOK AT YOUR NEW COOL CAT!:
HERE IS AN OVERVIEW OF FEATURES COMMON TO ALL COOL CAT MODELS:

早速、お手元のCool Catをご覧下さい！全機種のCool Catに共通する概要をまとめました。

CONGRATULATIONS!

あなたは超カッコイイ“ギア”を手に入れました。
ENJOY！



（画像はCV-1を使用しております）

IN
ギター側のケーブルを差し込んで下さい。

コントロールノブ
詳細については、右記取り扱い説明書をご参照下さい。

OUT
アンプ側のケーブルを差し込んで下さい。

DC 9V
ACアダプターを差し込んで下さい。
アダプターは9V、センターマイナス +⊖−
最低300mAである事をご確認下さい。

Note:
“Cool Cat”を稼働させるには電池、9Vアダプターがご使用になれます。
CV-1に関しましては多大な電力を消費する為、アダプターのご使用を推奨致します。

コントロールノブ（2連）
いくつかの機種に付いています。

LED
エフェクトONを示します。

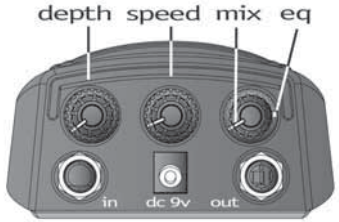
フットスイッチ
エフェクトのON/OFFを切り替えます。

コントロール設定:
いくつかの機種には2連ノブが付いています。
うまく調整するには、まず両方のノブを一緒に回し下ノブの位置を設定します。その後、上ノブを設定します。

＊注意
“時計回り”や“反時計回り”という言葉は上記の図の通りに見た事を指します。

CHORUS
CC-1
Features

取扱説明書



■機能

DEPTH: **コーラスの深さを最小（反時計回り）～最大（時計回り）と調整します。**
SPEEDコントロールと影響し合います。
スピードを遅くすると深いデプスが可能になります。
スピードが遅くなるにつれ、デプスを落とさないといけないかもしれません。
速く設定し過ぎると頭がクラクラして来るかもしれません！

SPEED: **コーラスの揺れ速度を最小（反時計回り）～最大（時計回り）と調整します。この機能はデプスが最小以上でないと効果がありません。**

MIX / EQ: **2連ノブになっており、内側のノブはミックスを調整し、外側のノブはコーラスEQを調整します。**
（これらの機能はペダルがONでないと効果はありません）
MIXコントロールが全開に反時計回りに回された時、コーラスエフェクトは全く無く、100%ドライ（原音）です。
MIXコントロールが最大の時はエフェクト音しか聞こえず、100%ウェット（エフェクト音）です。
最小と最大の中間に合わせるとドライ＆ウェットが完璧な比率で楽しめます。
通常設定は12:00（50%ドライ、50%ウェット）となっております。
MIXコントロールを下げる事でコーラスを弱く、上げる事でビブラート音に近づきます。
EQコントロールはウェットシグナルのみに効きドライシグナルには影響しません。
ウェットシグナルの高域ロールオフだと思って下さい。
コーラス音がきらびやか過ぎる場合はEQコントロールを下げて下さい。

フットスイッチ: **トゥルーバイパススイッチ。エフェクトON/バイパス を切り替えます。**

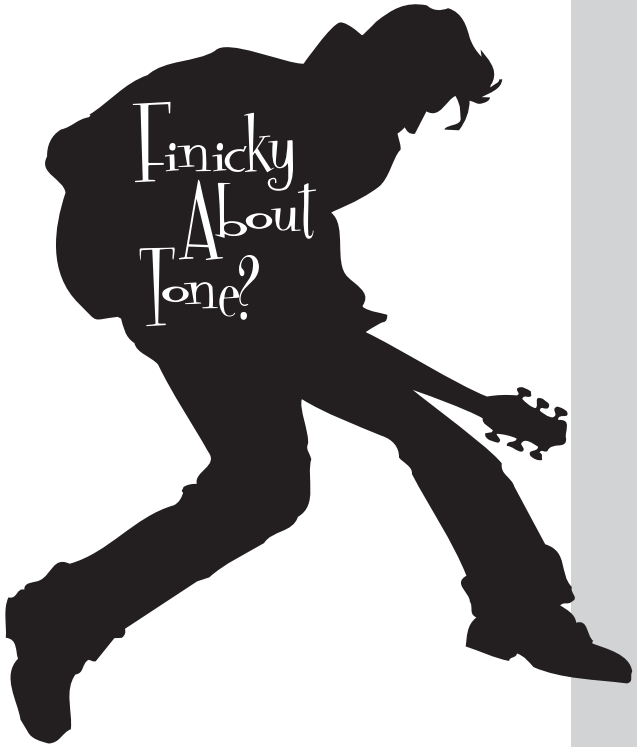
セッティングサンプル:
クラシックコーラス音を出す為には全てのコントロールノブを12時の方向に設定して下さい。
この音は使われ過ぎている事からバンド内からのクレームの元になるかも・・・もっと創造的になりましょう。

"Sky Blue Sky" – リズムプレイに最適。
その繊細ぶりに一晩中使ってもバンドメンバーは文句を言わないかも・・・
Depth – 9:30
Speed – 10:30
Mix / Eq – 9:30 / 最小 (7:00)

"Spin - Cycle" – まるでロータリースピーカーのファーストモードのよう。
でも227ポンドも軽い！
Depth – 9:00 最大Speed設定時、少し落とさないといけないかもしれません。
Speed – 4:30～最大 (5:00)
Mix / Eq – 12:00 / 最大
さらに、Mix設定を最大に設定
する事でビブラート音が得られます。

CC-1

© EC 2005 Printed in China



Instructions

CHORUS CC-1

クラシックなコーラスのサウンドだけではなく、今までに類を見ない程のコントロールが可能です。

COOL CAT! EFFECTS